

オープンソースだけでは解決しない 中小企業IT化の現場の声

関西の某中小企業

総務部 菅 雄一

システム奮闘記

<http://www.geocities.jp/sugachan1973>

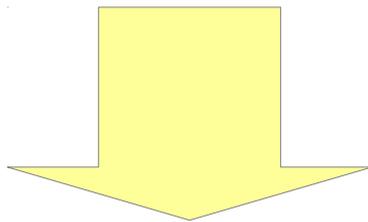
私の自己紹介

- 現役の総務部員
- 社内IT担当
- 総務・経理など兼務
- ネット販売
- 掃除・花壇の草むしり等

現場のナマの声を伝えます!!

発表の流れ

- オープンソースの導入利点
- オープンソースの取り組み
- 経費削減につながったが
- 業務に変革は起こらなかった
- 一体、何が問題なのか？



問題提起型の内容です

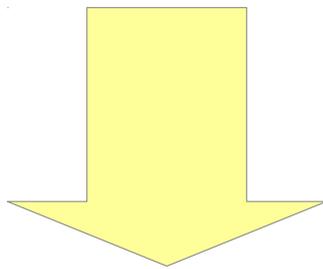
オープンソースの導入利点

体験談を交えて

紹介します!!

2000年 オープンソース導入

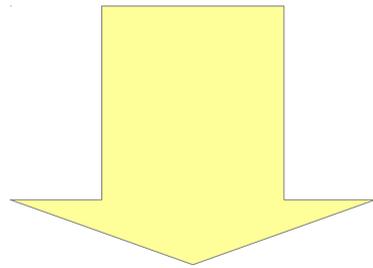
- インターネット接続
- 自社サーバー導入
- 外注すると100万円超える



上層部曰く「10万円でやれ！」

オープンソースに着目

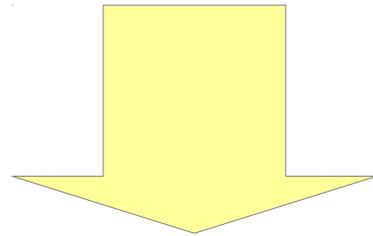
- Linuxは無償
- 10万円でパソコンが買える
- 初心者向けサーバー本が出ている



これしかないだろ！

ど素人がサーバー構築に挑戦

- 本の丸写しの設定
- サーバーの知識がないため
- 七転八倒しながらも
- なんとか構築できた



頑張れば自力でできる!!

オープンソースの利点を発見

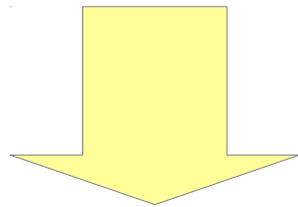
- 無償で導入可能
- 稟議書なんて要らない
- 思ったら実行できる!!
- 失敗しても損はしない

試行錯誤が可能で

機会損失防止に最適!!

オープンソースの可能性を直感!

- オープンソースを使えば
- 企業の財務に関係なく
- 努力次第でIT化は可能!!

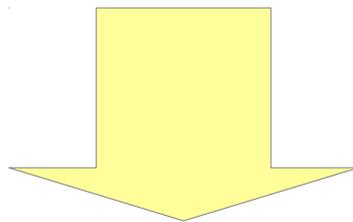


IT化の機会の平等

IT化モデルに大変革か?

もちろん平坦な道ではなかった

- 知識が技術がないため
- トラブルが発生すると
- 迅速な対応ができなかった
- 4日徹夜で対応した事もあった
- 本の丸写しでは限界があった



基本を押さえ技術を学ぶ必要がある

技術力をつけた事で

- 設定方法の意味がわかり
- セキュリティー向上になった
- 仕組みを知る事で
- トラブル対応可能になった
- ソースコードを読んで
- プログラムの改造が可能になった

技術力向上はIT資産を生む！

オープンソース導入事例 (1)

- Sambaでファイルサーバー
- OpenLDAPで認証の統合化
- PostgreSQLでデータベース
- Pukiwikiを改造したCMS
- EC-CUBEで通販サイト
- AS400とLinuxの連動
- FPDFでPDF帳票生成システム

オープンソース導入事例 (2)

- 仮想化サーバー構築
- PHPmotionで動画配信サイト
- ScalixでWebメール導入
- LibreOffice導入推進
- NetcommonsでCMS

頑張れば誰でもできる事を証明!

自信を持って断言します！

オープンソースの活用で

業務効率化が行えた

中小企業IT化の切り札！

オープンソースの利点

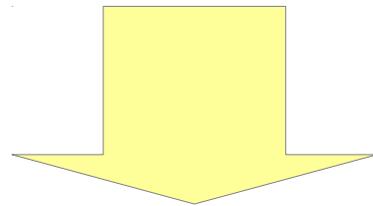
- 無償で導入可能
- 機会損失の防止
- 試行錯誤が可能
- 企業の財務に無関係
- ソースコードの改造が自由
- 技術さえあれば応用が可能

IT化の手法の革命的存在

だが振り返ってみると・・・

現実には甘くはなかった!!

- 経営方針は旧態依然
- オープンソース導入は
- 業務効率化になったが
- 経営改革に寄与していない



何も変わっていない現実があった!!

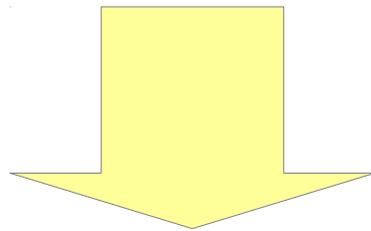
重大な事に気づいた！

- オープンソースでは
- 何も解決できない！
- 変革をもたらすには
- もっと根本的な所を
- 変えなければならない！

どうすればエエねん！

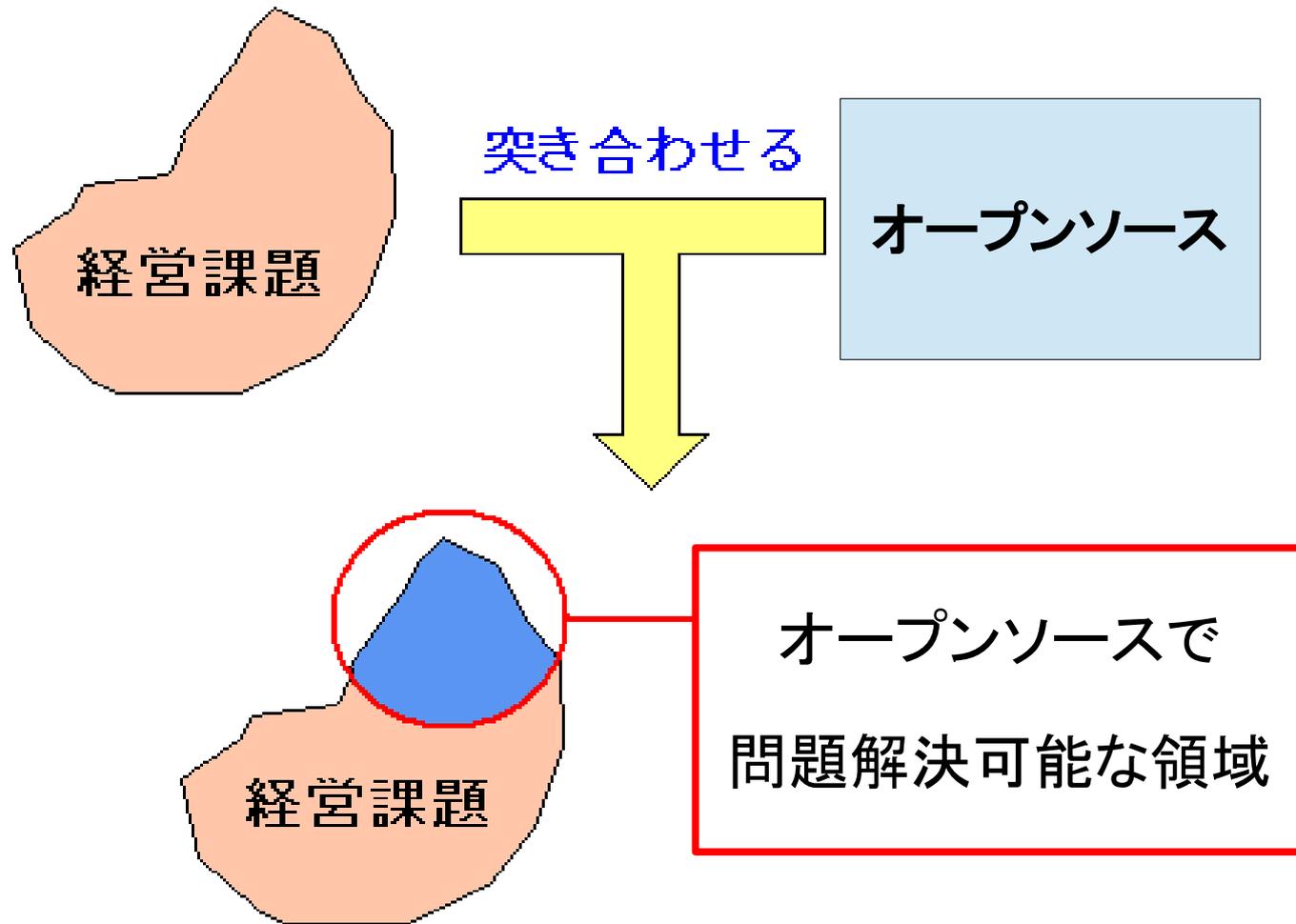
転機が訪れた

- IT経営のセミナー受講
- 経営戦略を練る方法



経営課題でITで解決できるのは
部分的な物に限定される!!

経営課題とオープンソースの位置づけ

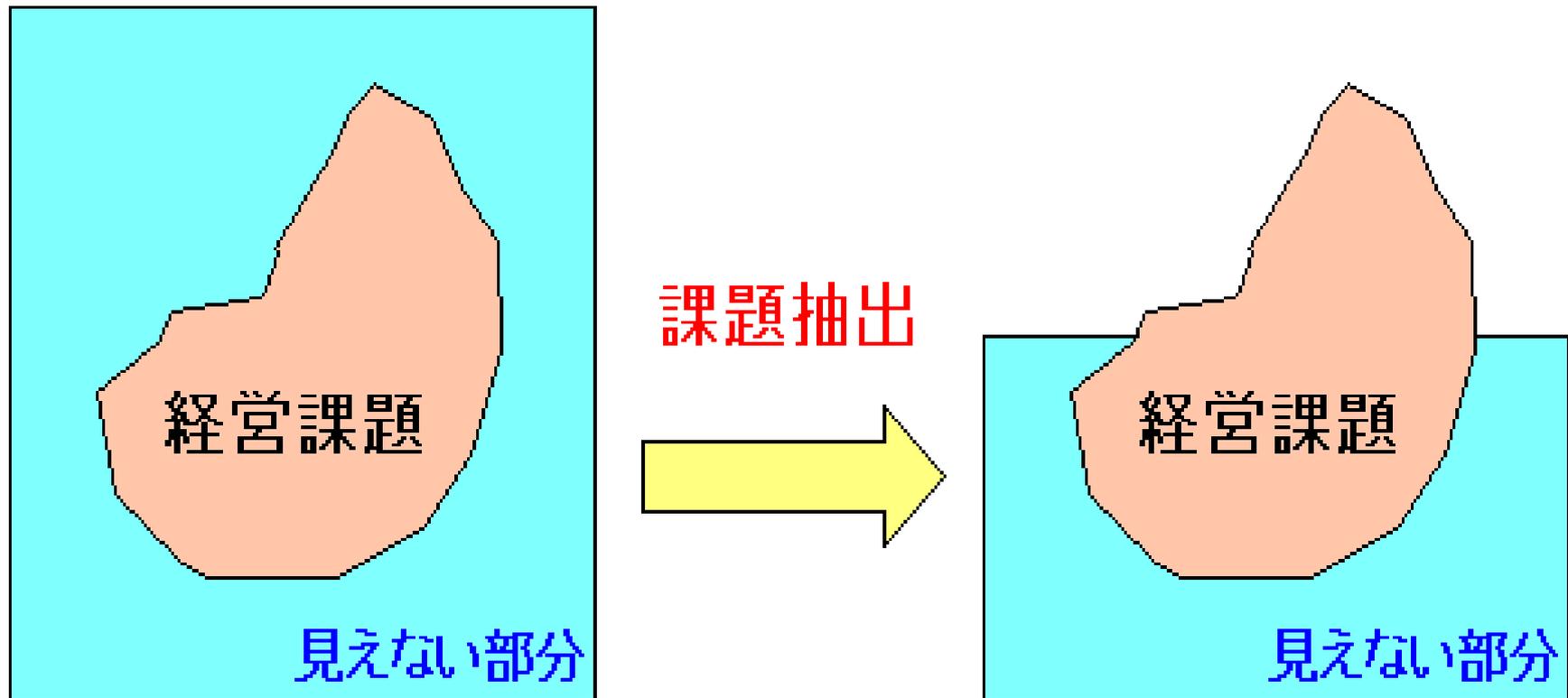


適応範囲が経営課題の一部に過ぎない!

当たり前前に事に気づいた

- 今まででは目の前にある
- 問題解決に躍起になっていた。
- だが、課題の本質が見えないと
- 根本的な解決は望めない

経営課題の抽出が必要になる



真の経営課題の的確な抽出

軸足を経営に傾ける

IT技術まっしぐらから

経営分野に目を向ける

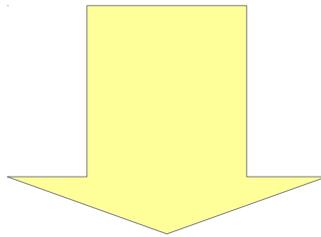
挑戦・その1

BPMNを使った

課題抽出と解決

中小企業の問題点

- 意外と風通しが悪い
- その人しか知らない業務が多い
- 全体を俯瞰できる人がいない



部分最適化に陥りやすい

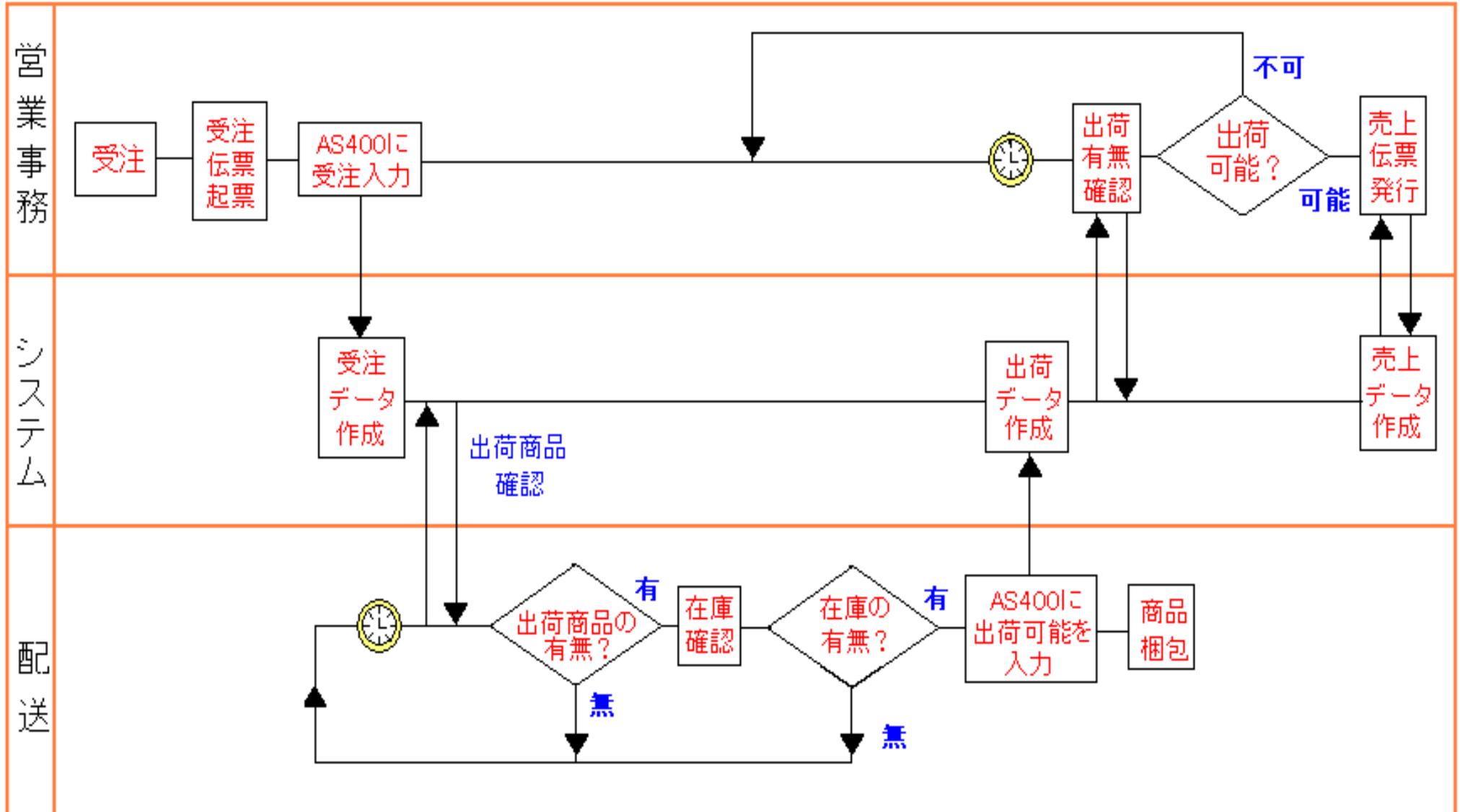
根本的な問題点を見出しにくい

BPMN導入を考えた

ビジネスプロセス モデリング表記法の略

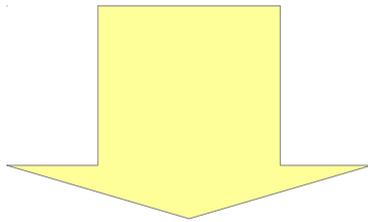
- 言葉は難しそうだが
- 複数人の作業工程を
- 連携の関係も含めて
- 図式化する事

BPMNを使った受注業務の流れ図



導入を呼びかけても・・・

- 担当者は「忙しい」
- 管理職は「各人に任せる」



導入が実現しなかった

導入に失敗した原因

- 各人バラバラの仕事で
- 管理職も各人に任せっきり
- 全体を俯瞰している人がいない
- 俯瞰図の概略すら描けないため
- 一から作成になると
- 各人が忙しいため協力が得られにくい

業務が回っていると

- 人に説明する必要がないため
- 図式化する利点がない
- 日常、同じ事が続いていると
- 問題点に気づきにくいだけでなく
- 欠員になる発想すら欠如する

利点が見えない上、危機感の欠如

挑戦・その2

経営戦略の手法を用いた

経営課題抽出法

経営課題の抽出法(教科書では)

- 経営理念の設定
- 領域設定
- SWOT分析
- クロス分析
- 戦略MAP作成
- 実践・評価

難しそうに思えるのだが

山登りに置き換えると

- 登る山を決める
- 登る道を決める
- 山道や天候を調べる
- 装備品や歩調を決める
- 必需品や工程表の作成
- 登りながら体調などの確認

当たり前前の事だったりする

SWOT分析とは(教科書では)

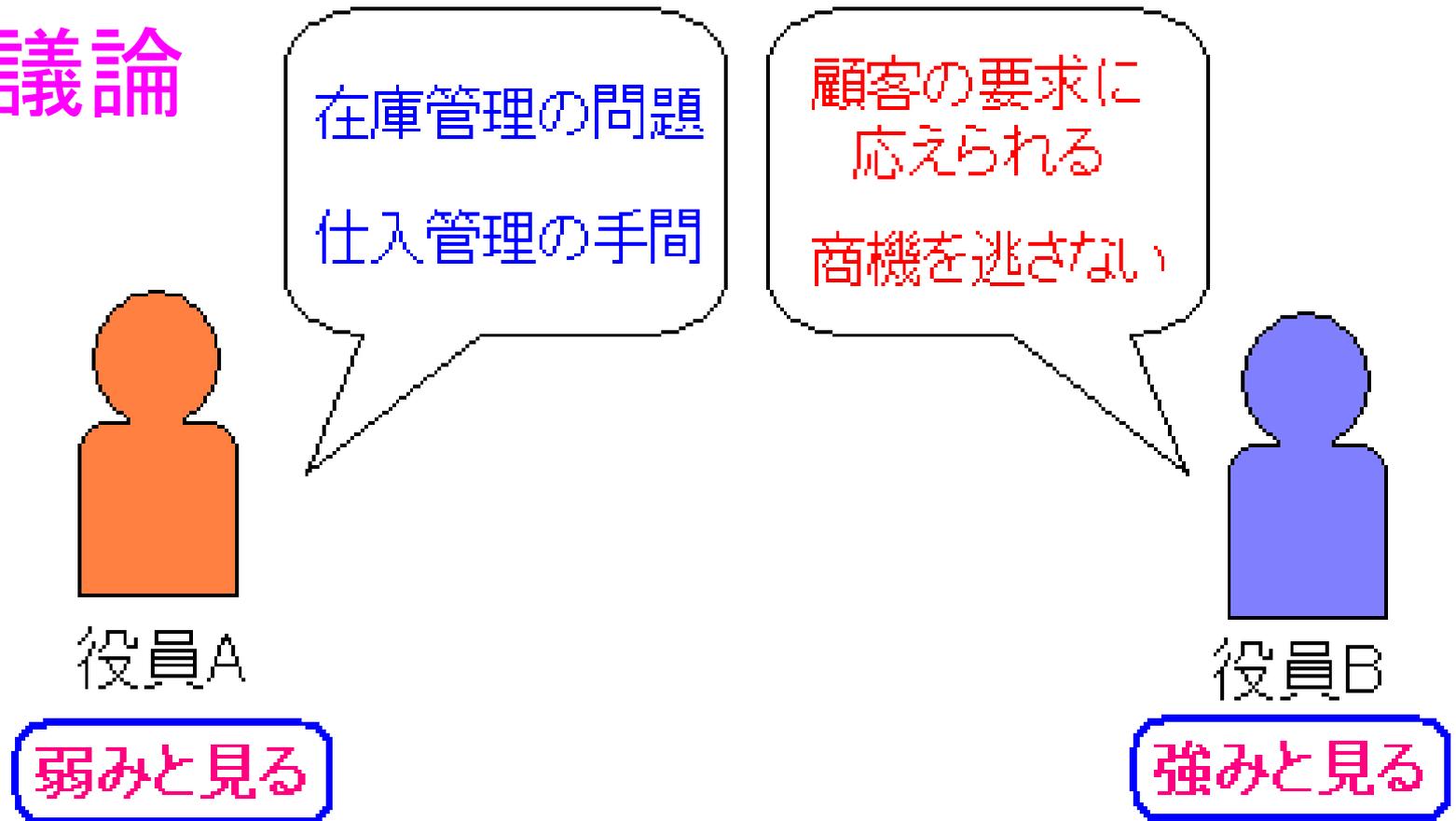
強み	機会
弱み	脅威

SWOT分析の目的

- 異なる視点の人達が
- 好き放題に書き出す事で
- 色々な視点を共有できる

こんな時にSWOT分析は便利

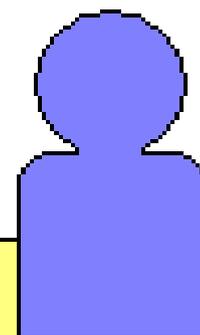
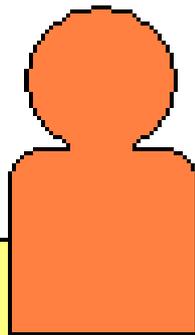
在庫の議論



視点が異なる人の意見が書き出せる

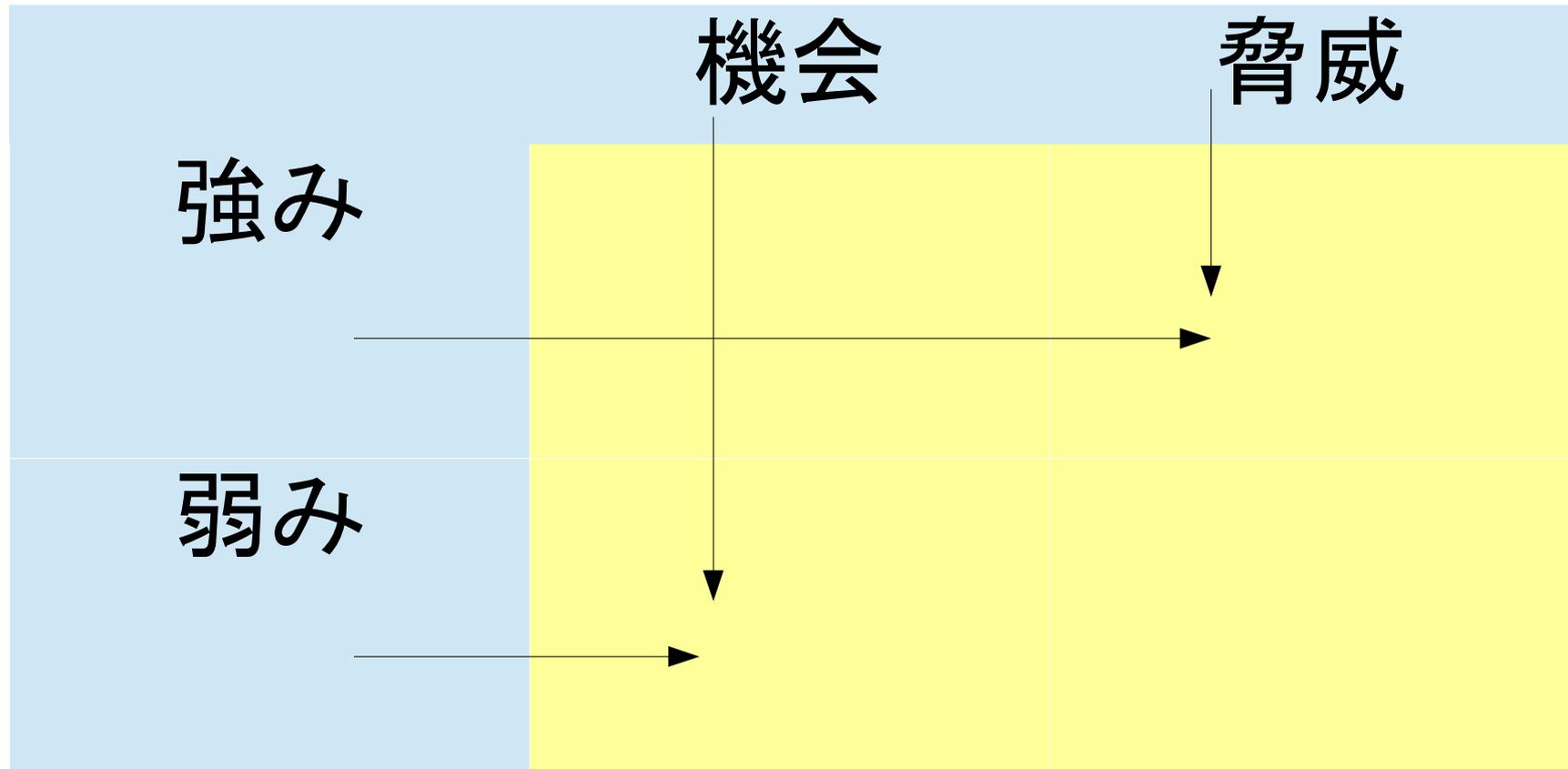
SWOT分析を行う事で

お互いの考え方が見える
全体の見通しが良くなる
やるべき事・問題点が
明確にわかる



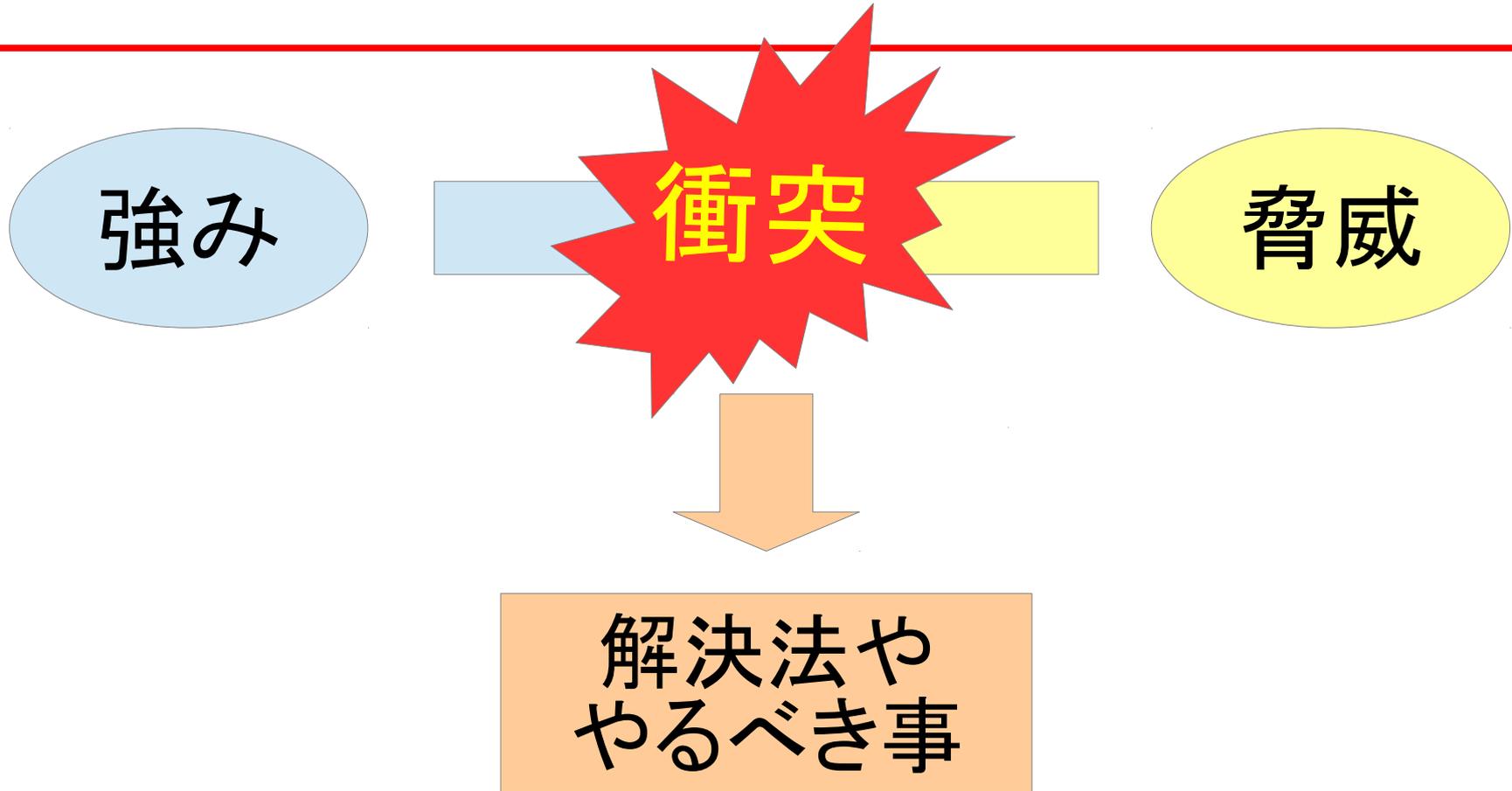
図式化・見える化・言語化した物を共有

クロス分析とは(教科書では)



それぞれを照らし合わせて、やるべき事を見出す

クロス分析の目的

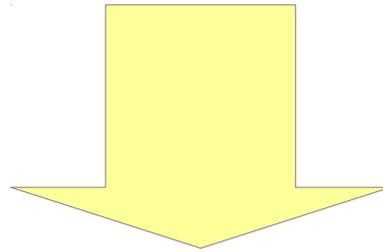


対立を前提に衝突させて

新しい事を見出す方法

ある販売促進企画に応用する

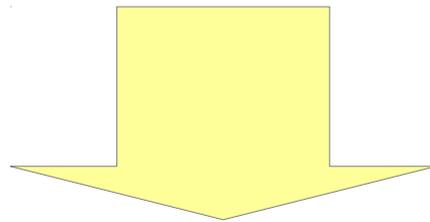
- 私がリーダーに指名される
- 効率よく進めたい
- 成功する確率を高めたい
- でも、この分野の素人



目標設定、課題抽出が重要になる!

案件の目的・目標などを見える化

- 目標設定
- 方向性の設定
- 強み、弱み、機会、脅威の洗い出し
- 何をすべきかを考える



見える化して参加者が考えやすくする!

日本の悪しき問題(1)

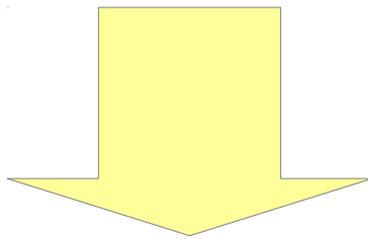


議論が起こる土壌とは程遠い

案の定、直面した

- 感覚的にわかった気になるため
- わざわざ明文化するのに消極的

こんな声が出た



言わなくてもわかっている

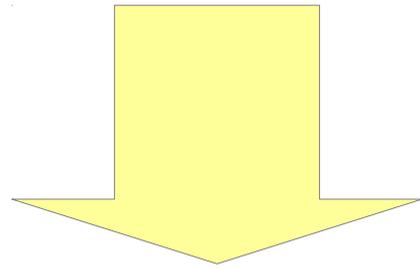
日本人の悪しき問題(2)

- 衝突を避けたがる
- 対立構造が生まれない
- 空気に流される
- 意見を対立させる事で
- 感情の対立が生まれる
- 未成熟な発想(?)

対立が起こらず議論も起きない

案件には制約が多すぎた

- 諸事情のため(守秘義務)
- 制約条件が多すぎて
- 自由な発想が出にくい



小手先の案しか思い浮かばない

結局、芳しくない成果だった

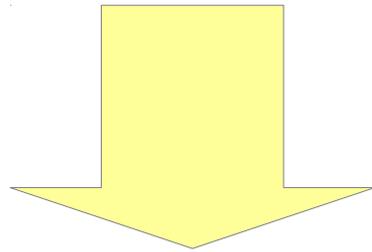
役員に頭デッカチと言われ

負けずに応戦したため

役員と言い合いになった

経営戦略の手法に誤解がある

- 理論と実践は違う
- 頭デッカチ
- 役に立たない



履き違えた意見が目立つ

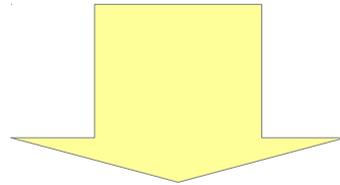
経営学は西洋の学問

- 意見・考えが異なるのが前提
- 意見を衝突させるのが前提
- 以心伝心が無いのが前提
- 各人が同じ方向に進むには
- 見える化と共有化が必要

徹底的な明文化が要求される

日本で履き違えた意見が出るのは

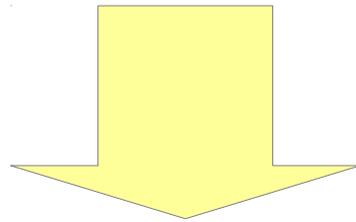
- 経営学が日本に合っていない
- 以心伝心で明文化を怠る文化
- 対立を避ける文化
- 経営学を崇高な物に思い
- 現実離れした物という誤解



日本人気質に問題があるのでは？

権威が好きな日本人

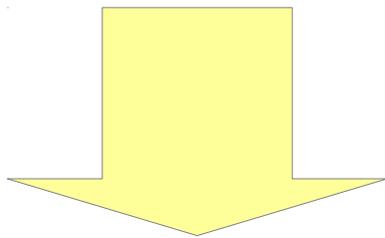
- 経営コンサルや学者は
- 難しい言葉を並べる
- 経営陣は難しい言葉を聞いて
- 勉強したと満足する



お金儲けの学問でなくなっている!

経営の観点からの改革は

- 手法が欧米向けなので
- 日本人にそのまま適用しても
- 円滑に機能しない事がある



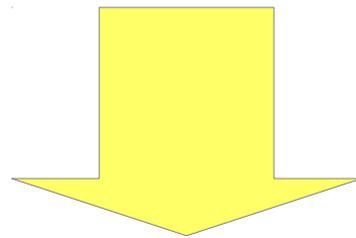
MBA取得者が陥りやすい罠と同じ

まとめ

- オープンソースは素晴らしい道具
- だが適用範囲は限られている
- 経営課題の抽出が大事
- 同質性が前提の日本人に
- 経営戦略手法など方法は
- 合っていないのではないか？

今後としては

- 上層部で理解者を増やして
- 経営改革に寄与していくか
- 日本人に合った経営戦略などの
- モデルを模索していくのか



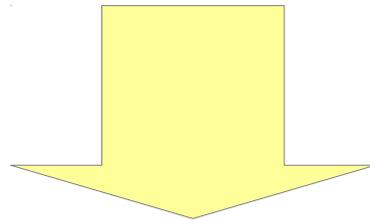
挑戦は始まったばかり

余談ですが

もしかして本当に必要な事は

頑張らなくても良い仕組み

- なんでも「必要」ではなく
- ITを知らなくても
- 経営戦略を知らなくても



会社が回る仕組みが必要かも

ご清聴ありがとうございました

社内IT化の取り組みは

<http://www.geocities.jp/sugachan1973>